

事務事業実施状況及び経営状況 評価シート（令和3年度分）

団体名	公益財団法人静岡市まちづくり公社	所管課	総務課
基本理念	「静岡市まちづくり公社将来構想」(平成25年度策定)に基づき、市内各地域に点在する管理施設を活用して、そこに集う市民とともに地域コミュニティの形成を図っていくこと		

《経営計画書 取組状況》

1 事業面における取組状況等

項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4
<p>中心市街地のまちづくり支援</p> <p>中心市街地に訪れる人が、豊かさや楽しさを感じ、ずっと居たいと思えるまちにすることで、賑わいの創出・まちの活力向上を図り、地域経済の発展につなげる。</p> <p>(関係課:商業労政課、都市計画課)</p>	コミュニティホール七間町稼働率	目標	—	43%	44%	45%	46%
		実績	38%	39%	40%	32%	
		進捗状況	—	ほぼ達成	ほぼ達成	未達成	
	賑わい創出に関する支援活動の実施	目標	—	180回	180回	180回	180回
		実績	175回	186回	166回	163回	
		進捗状況	—	達成	ほぼ達成	ほぼ達成	
	賑わい創出に資する自主事業の利用者満足度	目標	—	86%	87%	88%	89%
		実績	99%	99%	99%	98%	
		進捗状況	—	達成	達成	達成	
1	取組状況達成に向けた課題等	<p>(コミュニティホール七間町稼働率) 夏季に発令された緊急事態宣言に伴い、8月、9月、10月の一般利用のキャンセルが多数発生した。令和2年度は緊急事態宣言に伴い臨時休館としたが、3年度は臨時休館を設けなかったため稼働率が減少する要因となったが利用料金収入は2年度対比で69%増加した。</p> <p>(賑わい創出に関する支援活動の実施) I Loveしずおか協議会や商店街等、まちづくり関連団体の会議に出席し、中心市街地の賑わいの創出に努めた。</p> <p>(賑わい創出に資する自主事業の利用者満足度) プレミアムフライデーズンバ、ヨガ教室、親子スマイル体操、バロックコンサート等を開催し、高い満足度が得られた。今後も利用者ニーズを把握し、高い利用者満足度を維持したい。</p>					
	関係課意見	<p>【商業労政課】 コミュニティホール七間町稼働率について、数値は前年度を下回る結果となっているが、前年度と比較すると開館日が増加していること、利用料収入が大きく上回っていることから、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度までと比較し、回復傾向に向かっていると考える。 また、賑わい創出に関する支援活動や自主事業について、これまでに引き続き継続して積極的に取組んでいることから、例年高い満足度が維持されている。 今後も引き続き、積極的に活動を続けていただき、静岡市中心市街地の賑わい創出に努めていただきたい。</p> <p>【都市計画課】 ・I Loveしずおか協議会の事務局として、中心市街地のエリアマネジメントを推進している。 ・商店街やまちづくり団体の会議に出席し、イベント等の実施サポートを適切に行っているため、引き続き、中心市街地におけるまちづくり活動の支援や賑わいの創出に取り組んでいただきたい。</p>					

項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4
<p>交流人口拡大に資するスポーツ施設等の管理</p> <p>スポーツの場や歴史文化の学びの場を提供し、そこで魅力あるイベント等を実施することにより交流人口の拡大を図る。</p> <p>(関係課:スポーツ振興課、歴史文化課)</p>	健康づくりの拠点化事業	目標	—	14回	14回	14回	14回
		実績	20回	18回	15回	10回	
		進捗状況	—	達成	達成	未達成	
	コミュニティの拠点化事業	目標	—	実施	実施	実施	実施
		実績	実施	実施	実施	実施	
		進捗状況	—	達成	達成	達成	
	アスリートの拠点化事業	目標	—	実施	実施	実施	実施
		実績	実施	実施	実施	実施	
		進捗状況	—	達成	達成	達成	
	歴史文化の拠点化事業	目標	—	36回	36回	36回	36回
		実績	35回	38回	28回	42回	
		進捗状況	—	達成	未達成	達成	
2	<p>取組状況 達成に向けた課題等</p> <p>(健康づくりの拠点化事業) 働き盛り世代の運動実施率の向上を目的に、気軽にできる運動や休日にも積極的に身体を動かす「アクティブレスト」の推進に取り組んだ。 60代～80代の健康づくりの拠点として、健康促進運動教室やしぞ～かでんでん体操等、市の施策に則った事業を実施した。 利用者ニーズへの対応と施設の有効活用として、特に蛇塚スポーツグラウンドにおいては新規7事業を開催し、市民サービスの向上に努めた。 また、コロナ禍においても、継続的に運動できるよう定期的に動画配信を行い、市民の運動実践の動機づけを図った。</p> <p>(コミュニティの拠点化事業) 地元地域や周辺地域と連携した地域活性化事業については、コロナ対策を徹底した上で、地元庵原地区と連携したJ-STEP親子クリスマス会や、南沼上自治会と連携したゆらら祭りなどのイベントを開催し、コミュニティの拠点化を図った。 また、蛇塚スポーツグラウンドにおいては、清水サッカー協会との連携により、地元支援学校の生徒を対象としたサッカー教室を開催した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、庵原駅伝大会、総合型地域スポーツクラブ連携事業は中止した。</p> <p>(アスリートの拠点化事業) 東京パラリンピック開催直前キャンプ(車いすバスケットボール男子日本代表候補)を実施した。また、今回のキャンプにとどまることなく強化指定施設として検討されている。また、施設外でのトレーニング場所として、市内、三保の砂浜、久能の階段等、静岡市の自然を活かしたトレーニングを提案実施した。 次世代の育成を目的としたバスケットボールジュニア世代のセレクションを全国からのアクセスの良いJ-STEPが採用された。 Jリーグ戦開催に伴い、コロナ禍における移動リスクの軽減等も含め、アスリートに安心なスポーツ環境を提供するため、IAIスタジアム日本平で試合を翌日に控えたJ1チームコンサドーレ札幌の前日練習会場として、蛇塚スポーツグラウンドに誘致し利用された。 静岡女子ソフトボールのキャンプの際、地元の少年少女を対象にスポーツクリニックを開催した。</p> <p>(歴史文化の拠点化事業) 駿府城公園や静岡の歴史の体験・学習や日本の伝統文化の体験・継承にかかる事業や駿府城公園内及び周辺との連携事業等を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、新規2事業を増やすなど、実施回数を増加させた。</p>						

<p>関係課意見</p>	<p>【スポーツ振興課】 (健康づくりの拠点化事業) 新型コロナウイルス感染症の影響により計画通り実施できなかった事業もあるが、幅広い年齢層に向けた様々な事業が展開されている。特に、事業の実施場所を室内から屋外に変更したり、働き盛り世代が気軽に運動できる事業を開催したりと利用者のニーズに対応して臨機応変に事業を企画し、新規事業も積極的に実施している点が評価できる。</p> <p>(コミュニティの拠点化事業) 各施設で地元自治会や学校等と連携した事業が実施されており、地域の賑わいに寄与するとともに、地域に親しみのある施設となっており、地域コミュニティの拠点となっている。</p> <p>(アスリートの拠点化事業) アスリートのキャンプ地として積極的に誘致を行い実績を上げるとともに、静岡市ならではのトレーニングを提案実施するなど、地域の魅力を発信することにも工夫を凝らしており、リピーターへの期待も高く、とても評価できる。 また、地元の少年少女を対象としたスポーツクリニックを実施しており、競技の裾野を広げることにつながるため、今後も継続していただきたい。</p> <p>【歴史文化課】 新型コロナウイルス感染症の影響がある中での事業実施となったが、感染防止のための対策をとった上で、駿府城公園内及び周辺の施設等との連携を意識して事業を実施できている。さらに新規事業を2つ増やすなどの積極的な取り組みが見られた点が評価できる。 今後、令和5年開館の静岡市歴史博物館や大河ドラマ「どうする家康」の放送による観光客の増加が見込まれることから、引き続き周辺施設等との連携をとりながら新規事業も含めて積極的な事業展開を行うとともに、情報発信にも力を入れていくことを期待したい。</p>
--------------	---

項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4	
セーフティネットとしての市営住宅の管理 住まいのセーフティネットとして、住宅に困窮する低額所得者に安全安心な住環境を提供する。 (関係課:住宅政策課)	高齢者見守り体制の充実	目標	—	実施	実施	実施	実施	
		実績	実施	実施	一部実施	一部実施		
		進捗状況	—	達成	未達成	未達成		
	アセットマネジメントへの対応(定例会)	目標	—	12回	12回	12回	12回	12回
		実績	12回	12回	12回	12回		
		進捗状況	—	達成	達成	達成		
	地域コミュニティへの支援	目標	—	実施	実施	実施	実施	実施
		実績	実施	実施	一部実施	一部実施		
		進捗状況	—	達成	未達成	未達成		
	団地内緑化事業	目標	—	実施希望団地を随時募集				
		実績	実施	募集実施	中止	中止		
		進捗状況	—	実施	未実施	未実施		
取組状況 達成に向けた課題等	<p>(高齢者見守り体制の充実) 元気応援コールの実施や、不測の事態に対応するため団地巡回を行う公用車へAEDを搭載するなど、高齢者が安心して暮らせるよう努めた。また、認知症サポーター活動促進事業であるチームオレンジ駒形事業に参加し、認知症に対する知識の向上及び関係団体との連携体制の強化を目指した。 元気応援コールに関しては、「住宅だより・特別号」を発行し、登録者の拡大を目指した。 高齢者暮らしの相談会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を見送ったが、「住宅だより・特別号」において、ワクチン接種に関する案内をわかりやすく掲載し、高齢者の暮らしにおける不安の解消に努めた。</p> <p>(アセットマネジメントへの対応(定例会)) 全団地について月1回以上の巡回業務等により不具合の予見と早期発見に努め、老朽化の進行状況等に関しては画像等の資料とともに市への報告を行った。 修繕の実施においては、小破修繕等修繕登録制度により広く市内の中小規模の修繕業者との連携体制の構築に努め、突発的な不具合発生に対する緊急体制の強化を図り、暮らしの安全向上を目指した。</p> <p>(地域コミュニティへの支援) 入居者の高齢化に対する団地自治会の企画に関して、市と団地役員との協議の場に参加し、自治会活動の支援と市との良好な関係構築をサポートした。 団地役員との相談会や、市消防と連携した団地防災訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、自治会における課題等が生じた場合は、その都度対応することとした。</p> <p>(団地内緑化事業) 全面芝生化された住宅解体跡地は、団地自治会により良好に維持管理されたが、芝生を活用した自治会行事等は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。自治会の芝生維持管理については、引き続きサポートすることとしている。 他の団地での芝生化事業に関しては、希望する団地自治会があれば支援するが、市との調整が必要でもあることから、新たな実施については、団地から希望があった都度、市を交えて協議したい。</p>							

関係課意見	<p>多くの施設、多様な住民の居住する市営住宅を、長年にわたる経験とノウハウを活かし、本市と密に連携しながら、適切に管理している。</p> <p>令和3年度は、新型コロナの影響で見送った事業はあったものの、ワクチン接種に関する情報を「市営住宅だより・特別号」として発行し、市営住宅住民に周知するなど、工夫が見られた。</p> <p>また、市営住宅における設備等の不具合に対しては、即時に市に対して情報提供するとともに、対策案も合わせて提案するなどしており、評価できる。</p> <p>引き続き、経験とノウハウを活かした業務の遂行、市に対する積極的なアドバイスを期待する。</p>
-------	---

	項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4	
4	災害対策・防災支援を担うヘリポートの管理 災害や緊急時における安全で確実な地上交通の補完機能を提供する。 (関係課: 交通政策課)	災害時・緊急時の確実な管理運営	目標	—	実施	実施	実施	実施	
			実績	実施	実施	実施	実施		
			進捗状況	—	達成	達成	達成		
		管理瑕疵による事故件数	目標	—	0件	0件	0件	0件	0件
			実績	0件	0件	0件	0件		
			進捗状況	—	達成	達成	達成		
		地域との融和・協調、施設の啓発活動	目標	—	実施	実施	実施	実施	
			実績	実施	実施	一部実施	実施		
			進捗状況	—	達成	ほぼ達成	達成		
	取組状況 達成に向けた課題等	(災害時・緊急時の確実な管理運営) 災害・事故・テロ等非常時への対応力の強化のため、市や消防、警察等関係機関と連携した訓練を定期的実施した。							
		(管理瑕疵による事故件数) 施設管理においては、長年の管理実績を活かして優先改修箇所を判断し、施設の長寿命化及び事故の未然防止を図っている。							
		(地域との融和・協調、施設の啓発活動) 静岡ヘリポート連絡協議会の活動を通し、施設への理解を深める啓発活動を実施した。また、静岡市民を対象とした施設見学会(延べ38組、108名)を開催し、地域との融和を図った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため静岡ヘリポート祭りを中止したが、地元自治会との連絡調整は継続して実施した。							
関係課意見	(災害時・緊急時の確実な管理運営) 緊急時の時間外利用のため、自治会や近隣へ年度当初に説明を行い、また夜間訓練時には事前説明を実施している。 台風等で被害が予想される際には一時配備体制を取っている。								
	(管理瑕疵による事故件数) 長年の実績を活かして管理することにより、管理瑕疵はない。引き続き安全管理に努め、事故ゼロを継続していただきたい。								
	(地域との融和・協調、施設の啓発活動) ヘリポート連絡協議会による見学会を実施し、参加者から好評を得ることができ、施設への理解を深められた。今後、新型コロナウイルス感染症拡大状況を考慮しつつ、学校・幼稚園の見学受け入れ再開に向け常駐事業者との調整を実施してもらいたい。								

項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4
各種施設の管理等 各種施設の管理や業務の実績を生かし、様々な施設や業務において、安定的で質の高いサービスを提供する。 (関係課:総務課、管財課、スポーツ振興課、商業労政課、道路保全課)	業務の着実な実施	目標	—	実施	実施	実施	実施
		実績	実施	実施	実施	実施	
		進捗状況	—	達成	達成	達成	
	管理瑕疵による事故件数	目標	—	0件	0件	0件	0件
		実績	0件	0件	0件	0件	
		進捗状況	—	達成	達成	達成	
取組状況 達成に向けた課題等	<p>施設管理においては、長年の管理実績を活かして優先改修箇所を判断し、施設の長寿命化及び事故の未然防止を図った。また、施設管理に有用な資格の取得、体育施設管理士資格を有する職員による各施設の危険箇所等をチェックする安全委員会の設置、さまざまな災害及び事故を想定した防災訓練等の実施により、安全安心な利用環境を提供した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職員の健康チェック、施設の定員制限や感染予防の啓発などの対策を講じた。その結果、感染者を出すことなく安定的な施設の運営を継続できた。</p> <p>業務の実施にあたっては、利用者満足度調査等を実施し、ニーズを反映した設備改修や新規講座を開設した。</p>						
	関係課意見	<p>【スポーツ振興課】 施設の運営管理について、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響を強く受けた1年であったが、徹底した感染防止対策を実施し、安心安全な施設運営を継続している。 また、施設管理に有用な資格を取得するだけでなく、組織として安全委員会を設置し、有資格者の知見を実際の施設管理に活かしている点も高く評価できる。</p> <p>【商業労政課意見】 新型コロナウイルス感染症への対応として、市の要請に基づき適切な時期から営業時間の短縮の対応が図られており、利用者に対しても速やかに館内掲示板及びホームページでの周知を行うなど、適切な対応が取られた。また、利用者への利用料金の還付についても、市が示した方針に則り、利用者の混乱なく実施された。 令和2年度と比較して利用者数は増加しているが、コロナ前の水準には戻っておらず、引き続き利用者のニーズを把握し、新規の利用につながる講座やイベントを実施していくことが期待される。</p> <p>【道路保全課】 道路パトロール管理業務については、狭い車内から道路の異常を確認しながら長時間にわたり市内を移動し、また、軽微とはいえ補修作業等もあるため、心身共に疲弊することが考えられるが、今後とも適切な道路管理ができるように尽力していただきたい。</p>					

項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4
事業及び施設管理を生かした多様な公共性、公益性の担い手 指定管理施設等の管理を通じ、地域の振興を支援する。 (関係課: ー)	各管理施設等の連携事業の実施	目標	—	実施	実施	実施	実施
		実績	実施	実施	中止	実施	
		進捗状況	—	達成	実績なし	達成	
	地域振興支援事業の実施	目標	—	実施	実施	実施	実施
		実績	実施	実施	一部実施	実施	
		進捗状況	—	達成	未達成	達成	
	大学等との連携事業の実施	目標	—	実施	実施	実施	実施
		実績	実施	実施	実施	実施	
		進捗状況	—	達成	達成	達成	
6	取組状況 達成に向けた課題等	<p>(各管理施設等の連携事業の実施) ふれあい健康増進館インストラクターを未就学児を対象とした「蛇塚キッズクラブ」に講師として派遣したほか、公社施設間で管理運営手法の視察・研修を行うなど、施設間連携を図った。 施設職員による実務担当者会議においては各施設を会場として実施し、自らが勤務する施設以外の施設にも理解を深めるとともに、取り組み事例の共有やフィードバック、連携事業の検討を行うなど、更なる市民サービスの向上に努めた。</p> <p>(地域振興支援事業の実施) 行政や地元自治会、総合型地域スポーツクラブ等様々な組織や団体と連携協働した事業を実施した。</p> <p>(大学等との連携事業の実施) 静岡大学の学生に対し、フィールドワーク支援を行い、地域課題解決のための実践の場を提供した。 ふれあい健康増進館開設20周年記念事業においては、包括連携協定を締結している静岡大学学生の協力により記念ロゴマークやグッズを製作した。</p>					
関係課意見							

2 経営面における取組状況(組織・人材・財政面等)

項目	評価指標			H30	R1	R2	R3	R4
		目標	実績					
1 1	公社全体の経営状況 単位:千円	目標	—	—	2,126	2,989	3,974	5,085
		実績	△ 25,264	△ 16,941	△ 62,567	△ 56,882		
		進捗状況	—	未達成	未達成	未達成		
	取組状況 達成に向けた課題等	<p>新型コロナウイルスの影響が続いたことから、令和3年度も厳しい収支状況となっている。</p> <p>各施設とも感染防止対策を行ったうえで事業を実施したことにより、施設利用者数が令和2年度比で38%増加したもののコロナ禍前の水準の62%程度にとどまっており、回復の見通しが立たない状況である。</p> <p>感染防止対策やウィズコロナを見据え、どのように収益を確保していくかが課題となっている。</p>						
	所管課意見	<p>依然として新型コロナウイルスの影響を受け、厳しい状況にありながらも、感染防止策を行い、できる事業から再開した結果、前年比で言えば、収入を増やし、支出を抑えることは出来ている。</p> <p>人流の傾向把握と施設の利用率等から要因を分析され、対応策も検討されている。</p> <p>今後も、ウィズコロナにおける事業展開を実施するとともに、その経験とノウハウを活かし、引き続き社会の動きやニーズを捉え、柔軟に対応し、安定した運営を存続できるよう、収益確保・支出削減に努めていきたい。</p>						

項目	評価指標			H30	R1	R2	R3	R4
		目標	実績					
2	専門知識、技能を有する 職員の育成、採用、登用	目標	—	—	16回	16回	16回	16回
		実績	17回	24回	19回	21回		
		進捗状況	—	達成	達成	達成		
		目標	—	—	1件	1件	1件	1件
		実績	3件	11件	9件	1件		
		進捗状況	—	達成	達成	達成		
	取組状況 達成に向けた課題等	<p>(人材育成・研修への参加・実施)</p> <p>顧客満足度向上研修や普通救命講習Ⅰ、情報セキュリティ研修等、安全安心な施設管理に有用な研修を実施した。外部研修については、オンライン配信による研修を活用し、積極的な受講を促した。</p> <p>(専門性のある職員の採用、登用・資格 取得等)</p> <p>安全安心な管理運営のため、個人情報保護実務検定2級を取得した。</p>						

所管課意見	<p>顧客満足度向上研修や普通救命講習など、安全安心な施設管理に寄与する研修が実施されていることに加え、コロナ禍で増えたオンライン研修をうまく活用し、積極的に職員の育成に取り組まれていることが見受けられる。このような取組が高い利用者満足度や管理瑕疵のない施設運営につながっている。</p> <p>また、施設や事業のリスク管理の上で、個人情報保護に関する専門知識は重要である。</p> <p>施設の管理運営にかかる経験やノウハウについて引き続き継承を進めてもらうとともに、研修を受講された職員が公社職員にフィードバックするなど、研修等で得た知識を横展開していただき、職員全体のレベルアップにつなげていただきたい。</p>
-------	---

3 団体の経営状況の総括

新型コロナウイルスの影響により、収支については令和2年度に引き続きマイナスとなった。指定管理事業においては、利用料金収入の減収に対し補償していただいたが、収益事業の減収が大きく響いている。この状況が今後も続けば公社の経営に影響を及ぼすことから、収入を回復しできるだけ早く経営を安定させる必要がある。

4 今後の方針／新たな課題 など

新型コロナウイルスの感染予防に努めたことで安全安心な施設管理を行うことができたが、利用者の行動様式の変化により収益は落ち込んだままとなっている。

行動様式の変化に対応した新たな事業展開及び事業や組織の見直し、積極的な広報・営業活動により収益を改善させる必要があると考えている。

また、公社の保有資産である、建物の老朽化や下水道接続による浄化槽施設の撤去などに対応する資金確保の目途が立たない状況である。特に、清水千歳橋・柳橋駐車場については、県による河川改良工事に伴い、現行の構造令不適合であり、今後改修等が必要となるが、莫大な費用が想定される。

※経営計画書の見直しが必要な場合には、その理由とともにその旨記載してください。

5 市への要望・意見

新型コロナウイルスの影響による行動様式の変化、円安やウクライナ情勢等、社会情勢の変化に伴う電気料の高騰や諸物価の値上がりにより、消費控えが強くなることを見込まれる。このようなことから、指定管理料の積算時から状況が大きく異なっていることから、引き続き指定管理料の精算をお願いしたい。

指定管理料の積算にあたっては、行動様式の変化、電気料等物価の高騰、最低賃金や社会保険料等の上昇を踏まえた指定管理料としてほしい。

また、J-STEPにおけるレストラン、ゆららにおける売店等、施設にとって不可欠な機能として仕様書に記載のサービス提供事業については、指定事業としていただきたい。

指定管理施設の大規模修繕や備品の更新について、毎年度所管課に対して要望・提案しているが、なかなか実施されない施設がある。公社の役割を果たすためには安全な施設の維持が欠かせないことから、早期の実施をお願いしたい。

公社保有資産については、まちづくり公社の意思により建設または設置されたものとされ、撤去費用等については公社が負担することになっているが、当時の静岡市又は清水市の意向に従い、市の施策を補完するために建設または設置されたことが強く推測される。よって、これら資産の改修や処分については補助金や出捐金等の検討をお願いしたい。

静岡市第3次行財政改革前期実施計画における公社への支援として、市の各局区に対してコミュニティホール七間町活用について広報していただいているが、引き続き積極的な公社管理施設の広報・活用をお願いしたい。

6 パートナーとしての市の取組(所管課記載)

令和3年度も新型コロナウイルスの影響もあり、関係課による連絡会議を開くことはできなかったが、各所管課でまちづくり公社と情報共有をしている。

社会情勢の変化にあわせ、公社も工夫しながら収益確保につとめていることから、市としても電気料の高騰や諸物価の値上がり等の状況を注視し、所管課と連絡を密にし、状況を把握することで、必要な対応を検討していきたい。

今後も、経営計画に基づき、公社の役割、経営基盤等について評価し、必要な関与を行っていく。公社と連携するパートナーであるという認識をもち、施設所管課と公社、総務課と公社で課題認識を共有し、必要策を考えていくことで、公社の事業を効果的に推進し、安心安全な施設管理、市民サービスの向上につなげていきたい。

7 所管課による総合評価・意見(所管課記載)

新型コロナウイルスの感染対策の上での安全安心な施設管理をはじめ、住まいのセーフティネットである市営住宅の管理運営から中心市街地や地域での賑わいの創出まで幅広い分野で事業を展開するとともに、個々の事業を見ても、動画配信等コロナ禍における手法の工夫や利用者ニーズを捉えた事業の企画、新たな事業の積極的な開催などが、高い満足度につながっていると評価できる。

2年度は新型コロナウイルスで中止となってしまった事業間の講師派遣等による人材の共有や、公社施設間での管理運営手法の視察・研修など、施設間で連携し、ノウハウを共有することで、市が直接実施するよりも効率的な施設管理、事業の実施が行えている。今後も、各種施設を活用したイベントや各施設の取組を連携させた事業など、創意工夫を凝らし、収益の確保にも繋がるようさらなる自主事業を期待している。

経営面の評価として、指定管理業務に係る新型コロナウイルスの影響による減収分は指定管理料の変更で対応したものの、4期連続で収支差額がマイナスとなり、依然として厳しい収支状況は続いている。収益事業では令和3年度から駿府城公園の売店が追加されたことによる売店収益の増加、レストラン収益も改善傾向にあるものの、駐車場の利用率はコロナ前には戻っていない。今後施設の解体などの支出の増加に対応すべく、収入の確保が課題である。まちづくり公社と連絡を密にし、今後の状況把握に努め、必要に応じて協議を実施していく。

公社には、「総合的なまちづくりのパートナー」として、今後も関係各課と連携をとりながら引き続き公共の福祉の増進に資する事業に積極的に取り組んでいただきたい。総務課も、必要に応じた関係課間の情報共有などにより、公社と市の橋渡し役として積極的に関わっていく。また、感染症をはじめ電気料の高騰等も含めた社会状況を注視し、安定的な施設管理に支障がでないよう引き続き関係各課と対応を実施していく。